

予防接種の種類

予防接種は、制度の違いから「定期接種」と「任意接種」に分けられます。

定期接種

国や自治体が「受けるように努めなければならぬ」と強くすすめているもの。規定の年齢での接種なら費用は原則無料です。(一部自己負担になる場合もあります)

任意接種

個人で接種するかを判断し、費用も各自で負担するもの。健康保険は通常適用されません。(一部自治体では助成がある場合もあります)

ワクチンの種類

ワクチンは、感染症の原因となるウィルスや細菌をもとに作られています。成分の違いから、大きく「生」「不活化」に分けられます。

生ワクチン

生きた病原体(症状が出ない程度に病原性を弱められたもの)でできています。自然感染と同じ流れで免疫をつけるので、接種後に得られる免疫は強くなります。

不活化ワクチン

死んだ病原体や病原体の一部を集めたもの(病原性はなく、免疫をつけるのに必要な成分のみ)でできています。得られる免疫が強くないので、接種回数が多くなっています。

接種間隔

《異なるワクチンの接種間隔》

接種ワクチン → 次に接種するワクチン

現行通り	注射生ワクチン	制限なし	経口生ワクチン
	注射生ワクチン	制限なし	不活化ワクチン
制限なしへ変更	経口生ワクチン	制限なし	注射生ワクチン
		制限なし	経口生ワクチン
	不活化ワクチン	制限なし	注射生ワクチン
		制限なし	経口生ワクチン

※同じ種類のワクチンを複数回接種する必要がある場合、接種間隔の制限は添付書類に従うこと。
※特に医師が必要と認めた場合、同時接種を行うことができます。

予防接種の種類	対象月齢	接種間隔	標準的な接種スケジュール (おすすめの接種時期)												備考																		
			2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	8か月	11か月	12か月	15か月	17か月	18か月	23か月		2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳以上									
経口生 ロタウイルス	生後8週～32週0日	(1) 2回 ロタリックス 接種 (5) 3回 ロタテック 接種	①	②	③	④																											
不活化 B型肝炎	生後2か月～1歳未満	初回(2回) 27日以上の間隔 追加(1回) 1回目接種後、139日以上の間隔	①	②				③																									
不活化 Hib (インフルエンザ菌b型)	生後2か月～5歳未満	初回(3回) 27日～56日の間隔 追加(1回) 初回接種後、7～13か月の間隔	①	②	③					④																							
不活化 小児用肺炎球菌	生後2か月～5歳未満	初回(3回) 27日以上の間隔 追加(1回) 生後12～15か月で初回接種後60日以上	①	②	③					④																							
不活化 DPT-IPV (ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ)	生後3～90か月未満	1期初回(3回) 20日～56日の間隔 1期追加(1回) 1期初回終了後、12～18か月後		①	②	③				④																							
注射生 BCG	生後3か月～1歳未満					①																											
注射生 MR (麻しん・風しん)	I期: 1歳～2歳未満 II期: 小学校就学前の1年間										①								②														
注射生 水ぼうそう (水痘)	1歳～3歳未満	3か月以上の間隔 (標準的には①を接種後、6～12か月の間隔で接種)									①				②																		
不活化 日本脳炎	1期: 生後6か月～90か月未満 2期: 9歳～13歳未満	1期初回(2回) 6～28日の間隔 1期追加(1回) 1期初回終了後概ね1年後 2期(1回) 小学4年生																①	③		④							④	9～10歳				
不活化 DT (ジフテリア・破傷風)	11歳～13歳未満																												①				
不活化 子宮頸がん	中学1年生～高校1年生相当の女子	(2価) 1か月以上の間隔で2回接種後、1回目の接種から5か月以上かつ2回目の接種から2か月半以上 (4価) 1か月以上の間隔で2回接種後、ガーダシル 2回目の接種から3か月以上	対象者に個別の予診票を送付します。																								① ② ③	12歳～16歳					
任意接種 注射生 おたふく かせ	1歳	1歳児1回 5～6歳に2回目を接種																															1歳児のみ助成

予防接種の種類	接種時期	回数・自己負担額	対象者
大人予防接種 高齢者肺炎球菌	4月～3月(通年)	生涯1回の助成※ (自己負担4,000円、生保無料)	①65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳(令和5年3月31日時点の年齢です。)になる方 ②60歳以上65歳未満で、心臓や腎臓、呼吸器等に重い障がいのある方(身体障害者1級程度) ※過去に一度も23価肺炎球菌英膜ポリサッカライドワクチン(ニューモバックスNP)の接種を受けていないことが条件となります。
高齢者インフルエンザ	10月～2月	毎年度1回助成(無料)	①65歳以上の方 ②60歳以上65歳未満で、心臓や腎臓、呼吸器等に重い障がいのある方(身体障害者1級程度)